

秋も深まり 四月の入学式から半年がたちました。あっという間の時間の流れを感じています。

水野先生、辻先生、佐藤先生、山下先生、鈴木先生、野尻先生、瀬川先生、高田先生をはじめペアレンツキャンプのみなさまのおかげで息子の不登校を親子で乗り越えられてきたことを心より感謝申し上げます。

息子は小3で6か月の不登校、相談室登校を経て復学、そして中1の春から勉強もクラブも学校も頑張っていて順調にいらっていたと思われたのですが、二月のある月曜の朝に突然の「学校には行けない」のひとことでその後また不登校になりました。学校の保健室の先生や、カウンセラーの先生にも助けていただきながら、他の支援を試したりしていましたが、どんどん状況は悪化し、中学2年生の二学期には全く行けなくなりました。そして、ペアレンツキャンプのウェブサイトを見て電話を試してみたのが2年生の九月でした。辻先生のカウンセリングを受けたその日に親の会に参加しました。親の会で、ペアレンツキャンプのスタッフの皆様、不登校を経験されながら乗り越えていかれている親御さんにお会いして、ここなら大丈夫と確信しました。その後

は辻先生をはじめ多くの先生方にお世話になり、おかげさまで、2年生の十二月末には学校へ復帰することができました。復帰したからといって、そんなに簡単に息子の性格は変わるものではありませんから、3学期の始業式の日にも、前日から支援を受け、当日は、メッセージで先生に状況報告しながらじつと様子を見守り、自力で何とか登校できたあの日のことは今でもよく覚えています。辻先生をはじめ、諸先生方にはすべての息子の性格を把握していただいていたので、その後の生活も、母親の不安の気持ちを払拭していただいて、無事に高校受験も終え、本人の選択した希望高校に行くことができました。小3の不登校以来、心の折れやすい息子をなるべく失敗させないようにと育ててきてしまった私を、たくさんの失敗体験を今のうちにさせていきたいと思えるよう変えていただいたのがペアレンツキャンプだったのだと思います。いたらない私をいつも肯定していただき、最も不安定な時期の親子の成長を温かくそして確実に支えていただきました。

また、あの息子が、高校の入学式の「誓いの言葉」にチャレンジし、やり遂げることができたこと、この経験は、私にとっても人

生最大のチャレンジでした。失敗をおそれ、やらない選択をしようとした私たち親子の肩を強く押してくださった辻先生、そしてやさしく息子をサポートしてくださった高田先生のおかげです。

先週、私の海外出張に学校を休んでついて行きたい、と息子が言うので一緒に行ってまいりました。外国の街並みを、息子に先導され自転車で走ったときの私の幸せな気持ちは言葉では言い表せないほどでした。そして私の仕事中には、ひとりで遠出して田舎の風景の写真をいっぱいとってきて見せてくれた頼もしく成長した息子の様子を、先生方にお知らせしたいと思いました。

あのタイミングでペアレンツキャンプの支援を受けることができたことを本当にラッキーだと思います。ペアレンツキャンプの子育て精神がどんどん世の中に広まっていけばいいなと思っています。何ができるかわかりませんが、水野先生、そしてペアレンツキャンプをずっと応援させていただきたいと思っています。

平成三十年十月十三日

